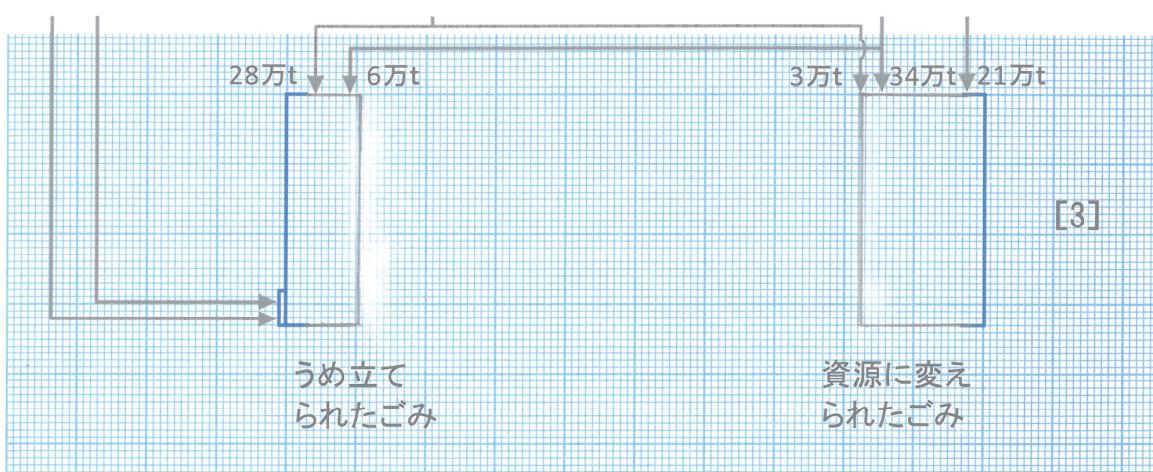


解 答

I 問1 A イ B ア

問2



問3 可燃ごみは焼却されて灰になることで、体積が小さくなるから。

問4 (1) 可燃ごみ、うめ立て、再資源化に分類される。

(2) 家電リサイクル

問5 (1) ペットボトル

(2) ウ

(3) ごみの量をできるだけ減らす

II 問1 ウ

問2 イ

問3 悪臭が発生するという問題。

問4 そのままうめ立てる場合 長期間分解されずに残る点。

焼却する場合 煙に有害な物質が含まれる点。

問5 ごみ収集車によって渋滞が引き起こされること。

問6 高性能の集じん装置を備えて、有毒な粒子の拡散をおさえること。

問7 熱⇒利用例 温水プール

灰⇒利用例 道路の舗装

III 問1 a 330 b 34 c 272 d 58

問2 イ

問3 ごみ問題に対する住民の意識が高まり、ごみとして集まる総量が減っている。また、焼却してからうめ立てたり、資源に変えやすいように分別や回収することで、うめ立て処分場がいっぱいにならないようにしている。

IV 問1 羽田

問2 都心部に近い場所から沖合いに移動してきた。

問3 1970年代半ばまではごみをそのままうめ立てていたため、10年以内に処分場がいっぱいになったが、1970年代後半以降は焼却してごみの体積を減らしたことで、処分場を利用する期間がのびた。